

# HEAT20って？

室内環境性能の向上に大きな効果をもたらす「外皮性能(断熱・遮熱・通風・採光など)の向上」の重要性と必要性を理解していただくために、室温という最もわかりやすい指標を用いて、エネルギー性能やコストとのバランスのなかで目指すべき水準を示しています。

## HEAT20が目指す水準と室内温度環境

下図は、HEAT20が目指す外皮性能グレードG1とG2の家がどのような室内温度環境になるかを示しています。併せて、省エネルギー性能についても現行の省エネ基準の家に対する比較をしています。

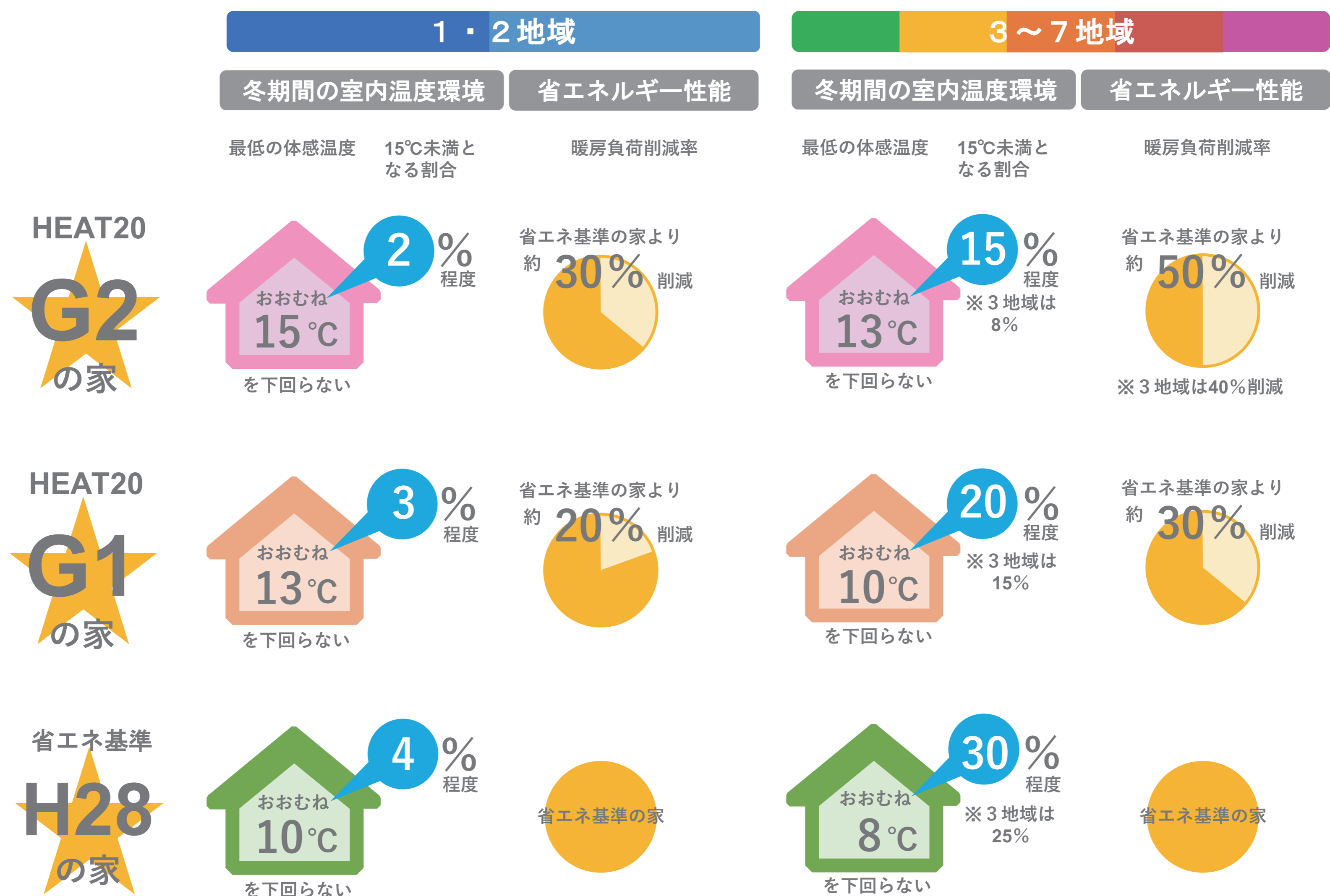
室内温度環境は、冬期間において家の中「最も体感温度が低い時の温度」と「各部屋の体感温度が15℃以下となる時間割合」を表しています。

6地域での一般的な家庭の暖房計画(平日・休日)において、冬期間の最低の体感温度は概ね13℃は下回らないとシミュレーションで算出されています。

※条件なども含む算出は、展示場スタッフまで

### 想定する暖房方式

地域区分		1・2地域	3地域		4～7地域	
暖房方式 【暖房時間】	L D K	連続暖房 【24時間】	連続暖房 【平日24時間、休日19時間】		在室時暖房 (深夜・日中は除く)	【平日:14時間】 【休日:13時間】
	主寝室		在室時暖房 (深夜・日中は除く)	【全日:9時間】		【全日:3時間】
	子供室		在室時暖房 (深夜・日中は除く)	【平日:3時間】 【休日:7・10時間】		【平日:3時間】 【休日:7・10時間】
	和室		暖房無し	暖房無し		暖房無し
	トイレ 廊下 浴室 洗面室	暖房無し	暖房無し	暖房無し	暖房無し	



※暖房負荷とは、対象となる空間を暖房するために必要な熱量のことです。  
※1・2地域は居室連続暖房、3～7地域は部分間歇暖房の計算に基づいています。